

国語 第3学年 場面をくらべながら読み、感想を書こう

検討会の想定問答

指摘 1: ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し: 中心はC(1)オ（文章を読んで捉えたことを根拠に、感想や考えをもつこと）。単元名の「場面をくらべながら」は、C(1)エの「場面の移り変わり結び付けて」を子どもの言葉にしたもの。場面を比べて捉えたことを根拠に感想をもつことが、この単元のねらいになる。合わせて(1)オとC(1)カを評価する。

指摘 2: 評価規準は何か。どこで見るのか。

返し: 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第3時のノート、思考・判断・表現①は第4時と第6時のノート、②は本時のワークシートと第8～9時の感想文、③は第10時の付箋と発言、態度①は第9時の感想文の見直しと第10時の振り返りで見える。

指摘 3: 言語活動は何か。

返し: C(2)イ「詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動」。場面を比べて感じたことを感想文に書き、読み合って感じ方の違いを話し合う。

指摘 4: 道徳や平和学習の授業になっていないか。

返し: 教訓や決意を引き出す発問は置いていない。国語科で扱うのは、叙述を基に場面を比べ、捉えたことを根拠に感想をもつこと（C(1)オ）。道徳科との関連は第3の1(10)に「国語科の特質に応じて適切な指導をする」とあり、叙述から感じたことを書くことそのものが関連に当たる。教材の観点は第3の3(2)カ「生命を尊重し、他人を思いやる心を育てるのに役立つこと」に当たる。学校の平和学習とつなげる時は、別の時間で扱う。

指摘 5: つらい経験をした子への配慮はしているのか。

返し: 単元に入る前に、家族を亡くした子や災害などでつらい経験をした子がいなかったかを担任と家庭の情報で確かめる。範読の前に戦争の話であることを伝え、感想の発表は希望者からにし、書いた物で受け止める。様子が気になる子には個別に声をかけ、無理に書かせない。

指摘 6: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: 読むのが苦手な子には、場面ごとの拡大本文とルビ、叙述を先に書き入れたワークシートを渡す。書くのが苦手な子には、感想の文の型を板書で示す。早く終わる子には、ちいちゃんのまわりの人が場面ごとにどう変わったかを確認する問いを用意する。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 7: ICTは使わないのか。

返し: 二つ想定している。当時の暮らしの写真を大型画面で見せること、二つのかげおくりを比べる表を共有の画面で作って全員の書き込みを一度に見ること。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ紙の表と付箋で同じ活動ができる。

指摘 8: 教科書の手引きどおりでいいのか。独自性はあるのか。

返し: 手引きは指導要領の指導事項に沿って作られているので、外す理由はない。この指導案の工夫は、場面の表を単元の初めから同じ形で書きため、本時ではその表から二つのかげおくりを取り出して比べることと、同じ所と違う所の両方を挙げてから感想を言う順に決めたこと。教材は第3の3(1)の「言語活動が十分行われるよう教材を選定する」に沿う。

指摘 9: 10時間は長い。時間が足りない。

返し: 10時間は光村図書の間指導計画例の配当に合わせた。削るなら、第4時と第5時を一時間にまとめ、ちいちゃんが一人になるまでの流れを一度に追う。あまんきみこのほかの作品は、第3の1(6)に沿って学校図書館の時間に並行読書として扱えば、単元の時数を増やさずにできる。

指摘 10：発問が多すぎないか。

返し：本時の中心発問は「二つのかげおくりで、同じ所と違う所はどこか」と、それを受けた「違いに気付いて、どんなことを感じたか」の二つで、二つ目は一つ目の答えを使う。(1)オの語句は、第3の1(3)にあるとおり、読むことの指導を通して扱うので、別の発問は立てない。

指摘 11：板書はどう使うのか。振り返りは何を書かせるのか。

返し：場面の表を単元の初めから掲示し、本時は二つのかげおくりを比べる表を中ほどに置く。同じ所は青、違う所は赤で囲み、子どもの感想は根拠にした列と線で結んで残す。振り返りは「比べて気付いたこと」と「友達の感想を聞いて思ったこと」の二つで、後者が第10時のC(1)カにつながる。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第3学年及び第4学年〕2内容C読むこと(1)イ・エ・オ・カと(2)イ、〔知識及び技能〕(1)オ・(3)オ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

